

2025年度 学校評価表

九州国際大学付属高等学校

一、学校運営基本方針

校訓	清く 明るく 逞しく
教育目標	平和で民主的な社会の形成者としての必要な資質を備えた、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成する
目指す学校像	一、生徒の夢と目標を実現できる進学校 一、他を思いやる豊かな心を育む学校 一、文武両道を実践する学校 一、時代をリードする国際性を育てる学校
目指す生徒像	一、高い知性と確かな学力を持つ生徒 一、社会の一員としての礼儀、マナーを身につけた生徒 一、心身ともに健やかで逞しい生徒 一、深く考え、自ら行動する聡明な生徒
日々の実践	一、さわやかな笑顔で挨拶を交わそう 一、礼節ある言葉づかいを心がけよう 一、服装を整え、生活マナーを大切にしよう
教育の特色	知・徳・体のバランスのとれた人間の育成を実現するために、「生活指導」「進路指導」「総合的な学習」の各次元からなる全人教育を行い、生徒一人ひとりの個性と能力を開発することで、生徒の夢を実現する。また、「生徒にとって最大の教育環境は教師自身である」をモットーに教員改革を一切の基本としていく。

令和7年度 年間教育活動目標

生徒の自走力を引き出すための学校生活の再生と教育力の向上

二、各部の年間基本方針と自己評価

総合評価：A

※評価基準： A:よくあてはまる/B:ややあてはまる / C:どちらともいえない
D:あまりあてはまらない / E:全くあてはまらない

■教務部

評価：A

目標	〈学問的魅力があふれる授業〉〈日々取り組みたくなる課題〉〈深い学びを秘めた考査〉 ①年間指導計画の作成および共有 ②授業参観 および 授業参加 の活性化 (MetaMoji ClassRoom) ③出席管理の徹底(タブレットオプション) ④定期考査の時間増加と内容の充実 ⑤定期考査ごとのクラス別分布表の作成 ⑥生徒の情報共有⇒年7回の生徒支援委員会の開催								
基本方針	具体的施策・目標				自己評価				
1. 授業時数の確保	授業の開始・終了時間の厳守(チャイムと同時に開始終了)				Ⓐ	B	C	D	E
	出張・年休・遅刻・早退の処理(時間割変更、振替、取得の推進)				Ⓐ	B	C	D	E
2. 授業の充実	他の教員の授業見学				A	Ⓑ	C	D	E
	研究授業の実施				A	B	Ⓒ	D	E
	教室内の整理・整頓				Ⓐ	B	C	D	E
	ICT機器・教材の利用				Ⓐ	B	C	D	E
	授業アンケートの活用				Ⓐ	B	C	D	E
	学外主催の研修への参加(オンライン研修を含む)				Ⓐ	B	C	D	E
	学内研修の実施				Ⓐ	B	C	D	E
3. シラバスの作成	各学年、クラス別の作成(難関・S/特進・準特進/進学)				Ⓐ	B	C	D	E
4. 試験問題の管理	問題の作成・提出(期限の厳守、管理)				Ⓐ	B	C	D	E
	試験時間の確立(5分前の着席、開始前の問題配布完了)				Ⓐ	B	C	D	E
	便利ツールによる度数分布表の作成及び結果の考察				Ⓐ	B	C	D	E
5. 生徒の出欠管理	タブレット出欠入力、教務手帳への正確な記入				Ⓐ	B	C	D	E
	生徒の欠席・遅刻等の減少化				A	B	Ⓒ	D	E
次年度への課題	○ 新学習指導要領に対応した3観点の評価法および考査内容の確立 ○ 教育活動における更なるICT機器の活用と研究 ○ チームとしての生徒支援および早期対応 ○ 今後は教員間の更なる情報共有を図り、クラス間格差の0を目指す ○ 校務システム・ICT化にともない組織化・効率化を図っていく								

■生徒指導部

評価:A

指導部方針	①挨拶②公共でのマナー遵守③美化					
基本方針	具体的施策・目標			自己評価		
1. 挨拶の励行	登下校時、来客、校外、自宅での挨拶の励行・習慣化			A	Ⓑ	C D E
2. 問題行動への適切な対応	確実な報告・連絡・相談			Ⓐ	B	C D E
	素早い対応			Ⓐ	B	C D E
	教科担当と担任の連携			Ⓐ	B	C D E
	家庭との連携・連絡			Ⓐ	B	C D E
	日頃のHRでの生徒指導			A	Ⓑ	C D E
	学年集会等での生徒指導			A	Ⓑ	C D E
	処分者・違反者の減少化			A	Ⓑ	C D E
	いじめアンケートの実施・対応			Ⓐ	B	C D E
3. 自転車通学の安全指導	安全教育指導の実施			A	Ⓑ	C D E
	事故件数の減少化			Ⓐ	B	C D E
	許可申請・管理・保健加入の推進			Ⓐ	B	C D E
4. 登下校指導での安全確保	週番割り当ての実施状況			Ⓐ	B	C D E
	笑顔での指導(明るく、厳しく、優しさのある声かけ)			A	Ⓑ	C D E
	教員から生徒に積極的に挨拶を行う			A	Ⓑ	C D E
	通学路の厳守・徹底			A	Ⓑ	C D E
	通学路周辺の清掃の実施			Ⓐ	B	C D E
5. 安全なスクールバスの運営	枝光駅とスペースワールド駅の選別の徹底			Ⓐ	B	C D E
	駅前での指導・安全な乗り降りの励行			A	Ⓑ	C D E
	学年別利用制限の励行			Ⓐ	B	C D E
6. いじめアンケートの活用	いじめアンケートの実施・把握・活用			Ⓐ	B	C D E
	いじめ事象の減少化			Ⓐ	B	C D E
次年度への課題	公共でのマナー遵守と挨拶の励行を徹底させる。					

■進路指導部

評価:A

基本方針・目標	①ミスマッチのない進路を獲得する。 ②自ら必要なことを見つけ、行動する自走の推進を行う。 ③指導環境の整備する。 ④探究活動を推進する。					
基本方針	具体的施策・目標				自己評価	
1. ミスマッチのない進路を獲得する。	進路ガイダンスの内容の充実	Ⓐ	B	C	D	E
	校内進路行事(大学進学説明会・出前授業等)の充実	Ⓐ	B	C	D	E
	外部の進路ガイダンスへの呼びかけ・参加	A	Ⓑ	C	D	E
	進路情報の提供	Ⓐ	B	C	D	E
	進路指導室の担当教員の徹底	A	Ⓑ	C	D	E
2. 合格実績の向上に向けた取り組み	授業と課外の充実	Ⓐ	B	C	D	E
	学習会および学習合宿の実施	Ⓐ	B	C	D	E
	教員の大学入試研究の推進	Ⓐ	B	C	D	E
	成績向上のための各種アドバイス	A	Ⓑ	C	D	E
3. 指導環境の整備	進路資料室のレイアウト変更	A	Ⓑ	C	D	E
	過去問題など資料の収集	Ⓐ	B	C	D	E
4. 探究活動の推進	計画立案と適切な指導による生徒の探究力の向上	Ⓐ	B	C	D	E
次年度への課題	新課程初年度に向けてミスのない進路指導を行う。 生徒の主体性育成に向けた本校独自の教育プログラムを検討する。 模試データの分析を指導に活用する。 合格実績の向上を目指し、それぞれの学力層を一段上に引き上げる。					